

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)重池住宅9号棟建設工事	階数	地上9F
建設地	神戸市長田区重池町1丁目10-3	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	177人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年12月10日
敷地面積	2,507 m ²	作成者	神戸市住宅都市局住宅部住宅建設課
建築面積	838 m ²	確認日	
延床面積	6,939 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>環境品質 (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	<p>Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 3 Q3 室外環境(敷地内): 3 LR1 エネルギー: 4 LR2 資源・マテリアル: 3 LR3 敷地外環境: 3</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q のスコア = 3.1		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.5

LR のスコア = 3.5		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 2.8	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 4.0
配慮の概要 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(最低限のレベル)を満たし、バリアフリー性に配慮した。	配慮の概要 建築基準法に定められた耐震性を満たすよう配慮した。	配慮の概要 敷地外周部に植栽を施すことにより、良好な景観の形成に努めた。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される